



市内各中学校・高校の図書室の先生に、オススメの本を聞きました。気になる本はぜひ、手に取ってみよう♪

『生きるぼくら』

原田 マハ／著（徳間書店）



「人生へ。私はもうだめです。疲れ果ててしまいました。」ある朝起きると母が家出していた。壮絶ないじめが原因で引きこもっていた24才の麻生人生は、祖母からの年賀状を頼りに蓼科に向かった。そこでの出会いや自然農法の米作りを通して、生きることへの希望を見出し再生していく物語。人と人とのあたたかなつながりが描かれた感動作。（御陵中学校）

『6days 遭難者たち』

安田 夏菜／著（講談社）



女子高生三人は、各々の理由から、共に山を登り始める。地元、夏の低い山での初心者向け日帰りゆる登山は順調であった。むしろ順調に登ったことが、後に思わぬ事態へと……。果たして女子高生三人は、無事に生還できるのか？ハラハラドキドキ息を詰めた気の抜けない展開に、最後まで一気に読みすること間違いなしの作品です。（大野中学校）

『人間みたいに生きている』

佐原 ひかり／著（朝日新聞出版）



食べるという行為に嫌悪感を持つ女子高生の唯は、古い洋館に住む「吸血鬼」の泉と出会う。食べ物のおいが全くしない洋館を気に入り、唯は通い詰めるようになる。「食べない」という共通点がある唯と泉だが、本質の違いを知ったとき、読者もはっとするでしょう。他人には理解してもらえない、と生きづらさを感じている人に読んでほしい青春小説です。（大野東中学校）

『リカバリー・カバヒコ』

青山 美智子／著（光文社）



小さな公園の古びたカバのアニマルライド。自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説がある。人呼んで“リカバリー・カバヒコ”。アニマルライドに纏わる5つの連作短編集。近所のマンションに住む人達がそれぞれの悩みをカバヒコに打ち明け、そして奇跡は起こる。とても優しく温もりに満ちた物語です。（大利中学校）

『科学でかなえる世界征服』

ライアン・ノース／著 吉田 三知世／訳（早川書房）



アメリカン・コミック作家でもある著者。その悪役キャラが、世界征服のため、奇想天外な野望を投げかける。悪の秘密基地は、どこに作ればいい？恐竜のクローン作成、インターネットの破壊など、危険な疑問を科学的、真面目に検証。但し、これをいかなる所で、試してはいけません。表紙や中のイラストも中学生に大人気！（平野中学校）

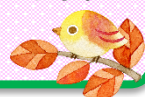
『さみしい夜のページをめくれ』

古賀 史健／著 ならの／絵（ポプラ社）



「こんな勉強、大人になってから使わくない？」主人公の中学3年生のタコジローは勉強する意味に悩んでいた時、ヒトデの占い師に呼びとめられます。ヒトデは解決のヒントとなる本を示してくれますが、答えは教えてくれません。タコジローは仲間とともに答えを見つけようとしますが…。悩みながら進む姿に、共感しながら読み進んでいける物語です。（筑紫中央高校）

図書室は、たくさん本を準備してみなさんを待っています。まどかぴあ図書館はもちろん、自分の学校の図書室もぜひのぞいてみてください。



まだまだあるよ
おすすめの本

【実用書】

『激変する世界で君だけの未来をつくる 4 つのルール』

尾原 和啓／著 大和書房

『もしキミが、人を傷つけたなら、傷つけられたなら』

犯罪学教室のかなえ先生／著 フォレスト出版

『ALLY(アライ)になりたい』

小島 あゆみ／著 かもがわ出版

『「毒と薬」のことが一冊でまるごとわかる』

齋藤 勝裕／著 ベレ出版

『クリームソーダ純喫茶めぐり』 難波 里奈／著 グラフィック社



【小説】

『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』 こまつ あやこ／著 講談社

『完全版アリス物語』 ルイス・キャロル／著 グラフィック社

『青春ゲシュタルト崩壊』 丸井 とまと／著 スターツ出版

『護られなかった者たちへ』 中山 七里／著 NHK 出版

『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』 喜多川 泰／著 サンマーク出版

『手のひらの音符』 藤岡 陽子／著 新潮社

～図書館の開館時間～

開館時間	日曜日～木曜日	10:00～18:00
	金曜日	10:00～20:00
	土曜日	10:00～19:00

休館日	毎月第1・3水曜日（祝日の場合は次の平日）
	年末年始（12月28日～1月4日）



ホームページ
はこちらです

大野城まどかぴあ図書館

10代のための図書館情報誌

2025 年
特別号

わいわいぱらら

大野城市内の

中学校・高校の図書室の先生が

おすすめの本を紹介！



まどかぴあ図書館には、10代の方に読んでもらいたい本を集めたYAコーナーがあります。